



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール11周年

No.544 4月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年4月7日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



いつもの春より、のんびりいきましょう

校長 武山 朋子

桜の盛りは3月末に訪れ、葉桜どころか新緑を思わせる木々の姿です。次から次へと出てくる若葉。外に出たくて仕方がないのは、植物たちも同じなのでしょう。

副校長をはじめとして新しい職員への入れ替わりもあり、新チーム永田台小として、令和3年度のスタートを迎えました。令和2年度の経験を通して学んできた、新型コロナウイルスと共にある学校生活をいかに安全にかつ充実したものにするかということ、今年度に生かし、更に新たな取組へとつなげていきたいと思えます。どうか、保護者の皆様、地域の皆様、学校を支えてくださる多くの皆様、今年度も変わらぬご支援を、宜しくお願い申し上げます。

昨年は4月、5月が学校休業でしたので、2年ぶりの4月の学校生活が始まります。1年の中でも特に過ごしやすく、思い切り走りだしたくなる季節です。「新しい学年になって、勉強もがんばりたい！」「新しいクラスで友達を早く作りたい！」そう張り切る気持ちが膨らんでいる子どもも多いことでしょう。でも、ここは慌てないことが肝心です。それは、コロナ禍の1年の生活を振り返ると、心も体も十分に準備ができているとは言えないからです。体のほうは、外遊びや運動の機会が少なかった分、体力が不十分でけがをしやすいとも言えます。また、心のほうは、様々なストレスとなんとか折り合いをつけながらこの1年を乗り越えてきたのですから、新年度だからといって急に頑張りすぎると、もたなくなってしまうかもしれません。これは、子どもも大人も同じですね。

ですからこの春は、いつもより、のんびりいきませんか？学校でも、今年は4月には6校時を行わないことにしました。4月に大慌てで様々なことを詰め込むよりも、なだらかにスタートし、お互いのことを知り、先の見通しをもち、安心して一步一步進むことが大切だと考えています。どうか保護者の皆様も、まだまだ先の見えないコロナ禍の日々を、嘆くことなく、でも諦めずに、一緒に一步一步前に進んでいきましょう。焦らなくて大丈夫。むしろこんな時だからこそできることを楽しみ、笑顔と感謝を忘れずに過ごしていくことがだいじだと、私は確信しています。

というのも、永田台小学校の子どもたちにはびっくりするようなパワーがあるということ、昨年度証明してくれたからです。6月から始まったコロナ禍の中で過ごす学校生活で、落ち込むどころかマイナスをプラスに転じ、むしろ力強く成長した姿をたくさん見せてくれました。今年もどんな成長の姿を見せてくれることでしょう。今から楽しみでなりません。期待をもって見守りたいと思っています。

